



Jichi 地域連携ニュース

- ・ご挨拶 ～北の国からやってきました～…… 岩見大基
- ・他人は皆、師匠……… 森 壱
- ・診療科長就任のご挨拶……… 坪地宏嘉
- ・新型コロナ流行に関する注意点……… 森澤雄司
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・FAXによる患者様紹介について

ご挨拶 ～北の国からやってきました～

腎臓外科 科長
腎臓外科学部門 教授 岩見 大基



皆さま、はじめまして、2020年4月をもって腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門 教授を拝命しました、岩見大基（いわみだいき）と申します。私は生まれも育ちも北海道で、北海道大学医学部を2000年に卒業後、そのまま同大学泌尿器科に入り、腎移植を専門として研鑽を積んでまいりました。

当教室は、附属病院腎臓センターの外科部門として、腎不全に対する内シャント手術、腹膜透析手術、腎移植手術を行っており、特に腎移植は年間30件以上を継続して行なっている国内有数の施設です。腎移植は、生まれつき腎臓に疾患を持った未就学児から70歳代の高齢者まで、末期腎不全で

あれば誰でも受けられる可能性があります。手術時間は4時間程度で入院期間は手術後1-2週間程度となっており、命がけの実験的な難しい医療ではなくなっています。退院後も、自宅で自己の健康管理（うがい手洗いしっかり、薬の内服を忘れないなど、ごく基本的なこと）ができてさえいれば、頻回の通院は不要で、安定期では2-3ヶ月に1回の通院で済みます。社会復帰を考える上では他の腎代替療法に比べて有利な点が多く、さらに小児においては成長障害の改善、女性では妊娠出産が可能になるなどメリットは大きいです。

慢性的な臓器ドナー不足という問題の解消のため、腎移植医療はこれから新しい時代がやってこようとしています。再生医療はもう少し時間がかかるかもしれませんが、安全なブタからの異種移植も現実味を帯びてきており、免疫抑制剤のいらぬ腎移植（これを免疫寛容といいます）はすでに外国では実現されてきております。免疫寛容の素晴らしいところは免疫抑制剤を飲まなくても拒絶反応が起きないので、免疫力は一般人と同等で、感染症の心配はグッと減ることが期待されます。

私はこの新しい恵まれた地で地域に根差した医療は継続しつつ、世界最先端の腎移植医療を実現することを目標に、教室員およびコメディカルの方々とともに診療に研究に教育に、邁進する所存です。しかし一方で、私たちの医療が腎不全患者さんにとって敷居の高い、とっつきづらいものであってはならないと考えております。腎移植がどんなものであるかを知っていただくにはまずは一度、私たちの外来に話を聞きに来ていただくことをお勧めします。逆に、受診したからと言って必ず腎移植を受けなければならない（腎提供しなければならない）というわけではありませんのでご安心を。腎移植のメリット・デメリットを十分に理解し、じっくり家族内で話し合ってください考えをまとめるということが重要です。

今後とも自治医科大学腎臓外科学講座、腎臓外科学部門をどうぞよろしく願いいたします。

他人は皆、師匠

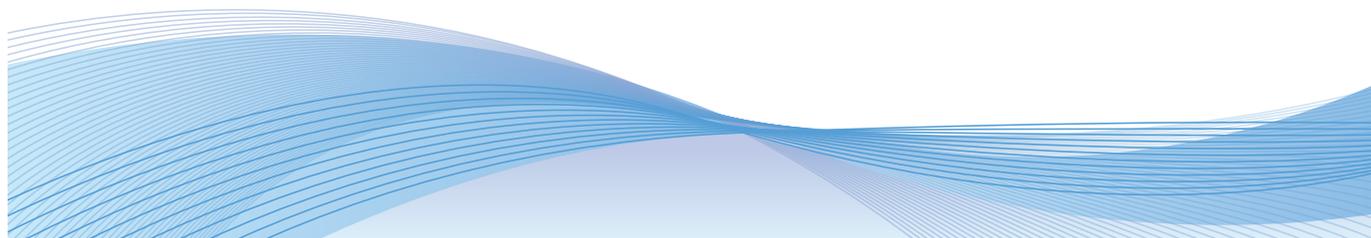
放射線科 科長
放射線医学 教授 森 壘



結論から申し上げると、何を学ぶかは自分次第である。

黒澤明監督『羅生門』は、多視点構成で撮られている。ある事象の捉え方は、特定の視点、関心、立場からの解釈（仮説）に過ぎない。何であれ物事は多面的であり、確固たる事実などという理想は存在しない（量子力学的な観測者の影響とか、高尚な話を持ち出すまでもなく）。オリジナルの真実とやらは、映像や文字を含め、どんな伝達手段でも再現できない。私たちの目にはバイアスが掛かっている。一方、古典落語『菟蓐問答』は、深読みし過ぎた「とんちんかんな会話」や「意味をなさない話のやりとり」として笑いを生む。だが、それだけだろうか。相手のしぐさを契機として、（相手の意図とは異なるが）何かしらの考えが得られたのであれば、有意義な時間といえる。それが、郵便のないし散種と言われる効用ではなかろうか。誰かを崇めるのも、貶すのも、こちらの気持ち次第である。他人の悪い点をあげつらっても詮無いことであり（長所も必ずあるはずであり）、何よりも（誰であろうが）自分の知らないことを知っている稀有な存在として、謙虚に接して行きたい。別に誤解や歪曲でも構わない。自分が相手から何を引き出せるのか、が大事である。

思考のきっかけは、何も人に限らない。ここに椅子がある。その設計思想は何か、素材は何か、何個の部品から組み立てられているか、想定されている使い手は誰か、何故この部品はこの大きさでこの形なのか、どこで使うのか、何年経過しているか、中古だといくらで買い取ってもらえそうか…相手がヒトだろうがモノだろうが関心を向けるだけで幾らでも問い（疑問）は生まれる（蛇足だが、問いは樋口裕一氏に自動生成することもできる。すなわち、その事象の定義、現象、結果、理由・根拠、地理的条件、歴史的条件および対策・方法について、それぞれ吟味すればよい）。問いさえあれば、答えを求めて調べたり考え始めてしまうのが人間である。すなわち学びが駆動する。総ては、こちらの気の持ちようである。見ようとしなければ、何も見えないのは道理であろう。常に周りに関心を持ち続けたい。世界の深さは、総て世界を読む人自身の探求心にかかっている。



診療科長就任のご挨拶

呼吸器外科 科長
呼吸器外科学部門 教授 坪地宏嘉



この度令和2年4月1日付で呼吸器外科科長を拝命しました坪地宏嘉と申します。私は平成7年に東北大学を卒業し、東北大学病院、青森県立中央病院、宮城県立循環器呼吸器病センターを経て、平成17年4月に自治医科大学さいたま医療センター赴任しました。前任の遠藤が自治医大さいたま医療センター長として転任し、後任として自治医大附属病院に参りました。

呼吸器外科領域で最も重要な疾患は肺癌ですが、小型肺癌やハイリスク症例に対しては負担の少ない胸腔鏡下手術に積極的に取り組んでまいりました。昨今胸腔鏡や腹腔鏡手術に伴う事故が度々報告され社会的にも大きな問題となっておりますが、これからも安全で確実な手術を実践していきたいと考えております。

進行肺癌の治療も呼吸器外科の大切な使命の一つです。近年の薬物療法や放射線療法の発展に伴い、進行癌であっても集学的治療により治癒可能な症例や長期生存する症例も少なくありません。呼吸器内科や放射線科の先生方と協力し進行癌の成績の向上に寄与したいと思います。

呼吸器外科手術を行う施設は全国的に必ずしも十分ではなく、周辺の地域をみましてもハイリスク症例に対応できる施設も限られており、自治医大病院への期待は大きいように感じられます。高齢化に伴い、心疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、腎不全など様々な合併症を抱えた患者さんが増加しております。今後も関係各部署の皆様と協力し大学病院の呼吸器外科としての責務を果たしていきたいと考えております。

呼吸器外科の担当する領域は広く、良性疾患についても幅広い疾患を扱っております。アスペルギルス症、非結核性抗酸菌症、膿胸などの感染性疾患も、内科的治療で対処できないものについてもご相談下さい。また、気胸や胸水貯留などの比較的一般的な疾患でも対応させていただきます。

自治医科大学呼吸器外科部門が、近隣の諸先生方や地域の皆様からさらに信頼されるよう努めて参りたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



新型コロナウイルス流行に関する注意点

患者サポートセンター長
感染制御部 部長 森澤 雄司

新型コロナウイルス感染症が世界的大流行・パンデミックとなり、皆さん、御不安なことと思います。幸い栃木県は患者数が少なく、2020年の前半までの第一波では本格的な流行に至りませんでした。そもそも第一波では日本国内の患者数は2万人にも及んでおらず、2009年9月から翌年の2月まで流行した新型インフルエンザの患者数2,000万人とは比べものにならないくらい小さな数字です。新型コロナは思ったより感染力がないのかもしれない。

しかし、新型インフルで亡くなった方は200人ぐらいであったのに対して、新型コロナではすでに1,000人近い方々が亡くなっており、かかると命に係わる危険性がずっと高いウイルスであるともいえます。また、欧米では桁違いの患者数、死者数となっており、世界的な大流行が続く中、日本に第二波・第三波が襲う可能性も考えておかなければなりません。新型コロナは無症状のまま感染して、さらに他の人にうつすこともあり、対応が厄介なウイルスです。では私たちはどのように対応すればよいのでしょうか。

まず、第一に過剰に怖がり過ぎないことです。県内では医療現場で感染した医療従事者はいません。当院でも必要十分な対策で従来の医療も継続できるように対応を進めています。適切な対策を取れば防ぐことが出来る訳ですから、患者の皆さんが過剰な“受診控え”とならないよう、先生方におかれましても安心してご紹介いただきたいと思います。

そして第二、油断せず、手をよく洗いましょう。病院職員もアルコールによる手指消毒に努めています。また、症状がない方からも拡がることもあるため、病院を受診したり電車・バスを利用したりする際には、エチケットとしてマスクを着用し、大声での会話は慎みましょう。当分の間、“たちの悪いインフルエンザがずっと流行している”というつもりで過していただき、このパンデミックをみんなで無事に乗り越えましょう！



治療をしながら働きたい、 働き続けたい方へ

治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい！

通院しながら働きたい！

仕事復帰の不安を解消したい！



自分の病状にあった
仕事を見つけたい！

就職活動で、会社に
病気のことを伝える
べきか迷っている。

～治療と仕事の両立に関する相談会～

在職中・休職中の方

両立支援促進員
(栃木産業保健総合支援センター)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
10:00～13:00

(再)求職中の方

就労ナビゲーター
(ハローワーク宇都宮)
による相談会

◇日 時：毎月第2水曜日
13:30～15:30

院内で相談が受けられます！
事前のご予約を！

◇方 法：完全予約制*相談希望月の第1火曜日17時までにお申し込み下さい

◇費 用：無料

◇その他：*疾患の種類・県内外住所地は問いません。

*匿名でのご相談もお受けしております。

◇相談実施場所（自治医科大学附属病院内）

患者サポートセンター医療福祉相談室

◇予約連絡先 0285-58-7107（直通）

◇実施機関連絡先

栃木労働局 ハローワーク宇都宮 専門援助部門 電話028-638-0369 部門コード#45

独立行政法人 労働者健康安全機構 栃木産業保健総合支援センター 電話028-643-0685

◇後援：自治医科大学附属病院 患者サポートセンター



自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内） 担当：伊原麻佑、渡辺秀男
TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の事務手続きにおける待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただけますようご案内いたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時

受付時間外にお送りいただいた申込書の対応は翌受付時間内での対応となります。

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。

<FAX 予約のご利用方法>

1. 「紹介状（診療情報提供書）」および「FAX 診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX 診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAX 診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療」予約票をお渡しください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX 紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

